

令和6年度 校内研究

「生活の安定と他者との関係性を育む自立活動の取り組み」

# 「生活の安定につなげる行動の枠組み作りとルーティンの設定」

(生活の安定グループ)

# I 研究内容

- (1) 生徒のいる場所（学校・家庭・施設等）を全体的に捉えるための連携と共有について
- (2) 本人・保護者の願いと現実との距離間のすり合わせについて
- (3) 本人が望ましい行動をするための支援について

# Ⅱ 実践報告

# 自立活動の観点からの情報収集

区分名	項目	生徒の状態
2 心理的な安定	(1) 情緒の安定に関する事	・自分の思うような結果が得られないと、感情的になり情緒が不安定になることが毎日のようにあった。
6 コミュニケーション	(5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事	・必要なことを伝えたり、相談したりすることができなかった。
3 人間関係の形成	(3) 自己の理解と行動の調整に関する事  (4) 集団への参加の基礎に関する事	・感情をコントロールすることが難しく不穏になることがあった。  ・集団の中でルールを守って活動したり、友達と一緒に活動経験が少なかった。

## C o - M a M e の観点からの情報収集

区分名	生徒の課題	支援の時期
心理 A 2 感情のコントロール	イライラすると、教室を飛び出し、物にあたることもある。	受容期～試行期
学習 C 8 経験	友達と一緒にいたり様々な行動を行うことが苦手。	受容期～試行期

## 2 指導仮説と指導目標

### (1) 指導仮説

「生活や学習の環境を整え、適切な行動について学習することで、よりよい社会性を身につけることができるようになるのではないか。」

### (2) 指導目標

#### ①長期目標

「卒業後の1日の生活の流れについて理解し、生活時程を守って学習をやり通すことができる。」

#### ②短期目標

「基本的な生活時程を守り、学校生活をおくることができる。」

# 3 実践と評価



## (1) 具体的な取り組み

### ①具体的な実践内容

いつ	だれが	どのような 場面で	本人の状態・行動	何をしたか
<ul style="list-style-type: none"><li>・清掃時</li><li>・各授業移動時</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・活動開始時</li></ul>	調子よい・普通・疲れている・不穏 注意散漫・問題行動・保健室・体調不良・相談・その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員の声がけ</li><li>・タイマーで時間を知らせる</li><li>・振り返りシートを書く</li><li>・同学年やクラスの生徒による声がけ</li></ul>

### ②実践時期

(10月～12月)

## 実践前

- ・ほとんど休むことなく意欲的に学習に取り組んでいる。
- ・業間や昼休みから清掃にかけての時間に課題がみられる。
- ・自分の思うように事が進まない、不機嫌になり、物にあたったりする様子がみられる。

# 実践中

- 授業は、どの教科とも意欲的に取り組んでいる。
- 業間については、次の学習の教室が近くにあることから、ほぼ時間にまにあうように移動している。しかし体育館は教室からの距離が遠いため友達と一緒に移動することもある。
- 時々一人で移動すると遅れることがある。
- 興味がある活動に集中しすぎて清掃に遅れたり行わなかったりすることがある。
- パソコン等で調べ学習をする場合、納得いかないと次に進むことが難しい。

# 実践① 11月19日 (火)

いつ	誰が	どのような 場面で	本人の状態・行動	何をしたか
昼休み	職員	活動はじめ	調子よい・ <b>普通</b> ・疲れている・不穏 注意散漫・問題行動・保健室・体調不良・相談・その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・10分間やることを設定して練習することを伝えて練習を開始。</li><li>・清掃時間少し前に終了して掃除に参加することができた。</li><li>・教師の声がけだけで、清掃へ移動することができた。</li></ul>

# 実践② 12月2日（月）

いつ	誰が	どのような 場面で	本人の状態・行動	何をしたか
昼休み	職員	活動はじめ	調子よい・ <b>普通</b> ・疲れている・不穏 注意散漫・問題行動・ 保健室・体調不良・相談・その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・パソコンの取り組みに時間がかかり清掃はしなかった。</li><li>・タイマーを使用したが高清掃へ移動することができなかった。</li><li>・友達の声がけで教室に向かった。</li></ul>

# 実践③ 12月3日 (火)

いつ	誰が	どのような場 面で	本人の状態・行 動	何をしたか
昼休み	職員	活動はじめ	調子よい・ <b>普通</b> ・ 疲れている・不穏 注意散漫・問題行 動・保健室・体調 不良・相談・その 他	<ul style="list-style-type: none"><li>・クラスの仲間からの声かけで、時間を守って活動を終わることができた。</li><li>・スムーズに掃除に向かい、友達と協力して掃除を行うことができた。</li></ul>

# 実践④ 12月12日 (木)

いつ	誰が	どのような 場面で	本人の状態・行 動	何をしたか
昼休み	職員	活動はじめ	調子よい・ <u>普</u> 通・疲れてい る・不穩 注意散漫・問題 行動・保健室・ 体調不良・相 談・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始める前に「〇〇分になったら 終わりだよ」と伝える。</li> <li>・時間になり終わりを伝えるが、 作業を続けた。</li> <li>・タイマーは使用しなかった。</li> <li>・クラスの友達が来て誘って くれたが、清掃へは参加できな かった。</li> <li>・何度も声がけをしたが、イラ イラする様子はみられなかった。</li> </ul>

# 成果と課題

- 短期目標は、少しずつではあるができるようになってきている。
- 職員が声がけしての教室移動はほとんど効果がなかったがクラス内の友人や同学年の生徒の呼びかけ等は、半数くらいの割合で効果がみられた。（呼びかけ等の工夫が課題）
- 自分でも行かなければならないということはわかっていても調べものに集中していたり、興味のあることにはなかなか止められなかったりする実態も把握できた。昼休みから清掃への取り組みの工夫が課題である。
- 振り返りシートを利用することで、少しずつ意識して取り組めるようになってきている。
- 時間に対しての意識はあると考えられる。



# Ⅲ 来年度へ向けて

# 【来年度へ向けて】

- 日々の授業の様子を記録することで、実践前後の生徒の様子を振り返り変化を追求できた。
- 写真・ビデオ等の記録をもっと残しておくべきだった。
- 活動をする際にルール確認を行い（時間や取り組み方等も）職員間の共通理解を図りながら支援を続けていく。